

1-1 資材高騰による公共事業への影響について

令和3年度から施工中の工事

インフレスライド条項による変更契約を実施

先端研究産業支援センターF棟増築事業 5,800千円の増額 (工期：R3.7~R4.6)

加茂コミュニティセンター改築事業 2,900千円の増額 (工期：R3.7~R4.7)

【要因】 労務費UP : 大工2.4%、普通作業員4.4%、電工6.2%

資材価格UP : 木材30.0%、板金20.0%、ガラス15.0%、電線13.0%

令和4年度に予定の大型工事

加茂水族館リニューアル事業

- 調査市場価格の再調査を実施中
 - 資材メーカーの再値上げの動向のヒアリング
 - 見通し困難な資材の納期、価格を再見積もり
- 事業費と工期、スケジュールの見直しが必要

朝暘第5小学校改築事業

- 市場の再調査を実施中
工事契約は9月定例会に提案予定

大山コミュニティセンター改築事業

- 市場の再調査と再積算を終了
5月19日に入札を執行済
工事契約は6月定例会に提案予定

※インフレスライド条項：「予見することができない特別な事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション（デフレーション）を生じ、請負代金額が著しく不相当となったとき」に、請負金額の変更を請求できる制度